

平成 2 1 年度再評価対象事業一覧表 (事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
18	一般国道444号道路改良事業 (福富鹿島道路) 事業主体：県 事業地：白石町	有明海沿岸道路は有明海北部沿岸地域を通り、福岡県大牟田市と鹿島市を結ぶ延長約5.5kmの幹線道路であり、平成6年12月に地域高規格道路の計画路線に指定された。 そのうち福富鹿島道路は、地域間の交流支援とともに、曲線半径100m以下の線形不良箇所が2箇所存在し、交通事故が年平均30件発生している国道444号のバイパス機能の役割も担っている。 本事業は、福富鹿島道路のうちの鹿島市側から3.6kmの区間を施工するものである。 有明海沿岸道路については、各市町による期成会や協議会の設立、要望活動が行われるなど、早期整備が望まれている。	全体事業費 約187億円 (暫定供用分) 工期：H17～H35 事業内容 4車線バイパス 暫定2車線施工 延長 L = 3.6 km 幅員 W = 10.5 m 改良工 L = 3.6 km 舗装工 L = 3.6 km 橋梁工 N = 2基 テスト 1式 用地補償 1式	H20末進捗率 約0.9% (事業費ベース) これまでに、測量・調査・設計及び環境影響評価の手続きを実施してきている。	白石町遠江(国道444号) H9交通量 9,083台/日 H11交通量 9,003台/日 H17交通量 10,180台/日 ・H18年度に隣接工区の佐賀福富道路に工事着手している。 ・H20年度に福岡県の大牟田市から大川市までが開通。 ・H24年度に新県立病院が開院予定。	環境アセスを実施する中で、ルートを絞り込んだ現時点で概算設計したところ、軟弱地盤層が厚く地盤改良費が増加したこともあり、費用対効果算出における総費用が増大した。 当初：85億円 現在：134.3億円 B/C=2.3	(コスト削減) ・本工区は、全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト削減を図る。 ・他工事で発生する残土を本工事の盛土等に流用し、コスト削減を図る。 (代替案の検討) ・特になし	準備・計画段階で5年が経過	継続 (理由) 本工区は、有明海北部沿岸地域の都市と重要港湾三池港や有明佐賀空港といった交通拠点との連携を強化する交流促進型道路である有明海沿岸道路の一部である。当初から事業の必要性・重要性は変わっておらず、費用対効果の高さや、円滑な交通の確保による地域経済の発展等を勘案し、引き続き事業を継続することとしたい。	

